

中心地域整備に関する調査特別委員会（第27回）

日 時 平成30年4月24日（火）
午前9時～午前10時33分
場 所 議会棟 議場

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）（傍聴者：1名）
説明員 丸山教育長、安達教育次長、段塚室長、榎尾主幹
中村副町長、実延企画課長、島山室長
書記 花倉主事、井川主事、岩崎事務局長

○山本委員長 ただいまより、第27回中心地域整備に関する調査特別委員会を開会いたします。本日は、去る18日に日南町体育館の改築工事祈願祭が執り行われましたけれども、この日南町体育館建築の件についての調査及び民間活用住宅整備等事業について。また、道の駅にちなみ日野川の郷の運営体制についての調査を行います。最初の日南町体育館建築についての調査が終了した後、若干の休憩をいただきまして、担当課の交代を行いたいと思いますのでよろしくお願いをいたします。まず最初に、日南町体育館建築についての報告を求めます。丸山教育長。

○丸山教育長 先程も委員長がおっしゃいましたように、4月18日日南町体育館改築工事安全祈願祭にご出席ありがとうございました。工期等につきましては、先般来申し上げているところでありますけれども、本日は体育館改築工事が予定通り進みまして、12月末には完成の予定であります。また、小中学校、町民の皆さんの協力によりまして、利用に関しましては大きなトラブルもなく、現在進んでいることをご報告申し上げます。ただし、不安な点がありまして、本日報告をしておきたいと思っておりますけれども、解体から体育館工事、外構工事の予算が6億3,000万円で、繰越事業として認めていただいたところでありますけれども、本体工事に思いのほか金額が掛かりまして、外構工事が当初予定した通り出来かねるといような可能性がありますので報告をしておきたいと思っております。つきましては、あくまでも現繰越予算内で出来るところまで、完成後利用に支障が生じないようなところまで工事を行いたいと思っております。尚、現在、体育館前のグラウンド側でありますけれども、駐車場が利用できません。小学校、中学校の玄関前また中学校裏の駐車場をお願いしておるところであり

ますけれども、完成をしましても体育館前の駐車場は、通路を確保するために以前のように駐車はできない状態が生じて参ります。その代替確保の点から、北ノ原砂防堤が現在工事を進めておられますけれども、その砂防堤の下に駐車場を確保したいと思っております。現在は、工事関係の車両ないし、事務所で使用しておるところでありますけれども、その工事の予算等につきましては、31年度または本年の補正予算等をお願いをしたいという考え方を持っております。従いまして、今回できなかった外構工事も含めて、その当初予算ないし、補正予算をお願いをしたいと思っております。是非ご理解をいただきたいと思っております。以上、体育館改築工事について現状の状況報告を申し上げます。よろしくをお願いをしたいと思います。

○山本委員長　　ただいま報告をしていただきました。このことについて質疑ございますか。久代副委員長。

○久代副委員長　　駐車場を確保したいということでしたけれども、その図面ですよね。想定されている。それは資料として出してもらえませんか。想定される駐車台数ですよね。今、教育長の説明では解りにくいので、もう少し詳しい資料を出していただきたいと思っております。

○山本委員長　　榎尾主幹。

○榎尾主幹　　今、想定しております砂防堰堤の下の駐車場も含めまして、一体的なもの、体育館を中心とした学校ですとか、今回、昨年度作らさせていただきましたテニスコートの駐車場の台数含めまして、一体的なものを資料として提出させていただければと思います。

○山本委員長　　本年の1月23日の資料におきまして、合計209台の駐車場の予定ということで図面を添付していただいて、資料を提出していただいておりますが、この資料よりも違った計画をもっておられるということでしょうか。榎尾主幹。

○榎尾主幹　　失礼しました。先程委員長の方からありましたように、1月23日中心地域整備の特別委員会で出させていただきました資料の方に付けております物を、私、今出そうかと思いましたが、こちらの提出済みの物を見ていただければと思います。計画段階としましては、今と変わりのないものを予定したいと思っております。

○山本委員長　　久代副委員長よろしいでしょうか。台数は書いてありますが、予算についての説明はございませんでしたので、予算について説明ということでしたら、今おたずねしていただければと思いますが。久代副委員長。

○久代副委員長　資料はすでに出してあるということですが、データ化はされていないということの確認と、それから想定される台数はわかりましたけども、駐車場増設に伴う予算をどのくらい見積もっておられるのかということも含めて、全般的に当初予算6億3,000万円で、おそらく外構工事含めて足りないということが想定されるとい教育長の説明でしたけれども、その駐車場の増設に伴う予算の概算額ですね、それももし試算があれば示していただきたいと思いますがどうでしょうか。

○山本委員長　榎尾主幹。

○榎尾主幹　提出させていただいております資料につきましては、データの方がございますので、こちらの方はデータの方を提出したいと思っております。後段の方の駐車場の概算の見積りというところがございますが、駐車場の面積等もしっかりしたものを確定した後に、積算の方に入っていきたいと思っておりますので、現段階ではまだはっきりとした金額の方は掴んでいないのが現状です。

○山本委員長　大西委員。

○大西委員　今の関連だったのですが、確か私、手元に図面がないもので、想像で言うんですけども、野球をする観覧席を広くするような話がなかったんですかね。確認ですけど。

○山本委員長　榎尾主幹。

○榎尾主幹　設計管理のプロポーザルを行った時に、設計会社の方から提案の方はございました。しかしながら、具体的には現課の方では検討しておりませんで、砂防堰堤の下、こちらの方の駐車場ということで検討をしていきたいと思っております。

○山本委員長　大西委員。

○大西委員　今現在の野球の観覧席は、触らないということですか。

○山本委員長　榎尾主幹。

○榎尾主幹　現状、現課の方では観覧席を潰してあそこを駐車場にするという計画の方は考えておりません。

○山本委員長　大西委員。

○大西委員　北ノ原の砂防堰堤のところの駐車場ということで、工事現場の事務所がありますけど、お願いしたいのは、砂防の上のところですね、生山養草組合にありますので、そこがどうのこうのじゃないですけども、組合の方にですね、確認というか、その下を駐車場を作りますよという権利はないかもわかりませんが。ちょ

っとそこも一応以前組合の方からもそこら辺のことも、ちょっといろんな話が出てましたので、そこに駐車場を作るなら作るという話をですね、組合の方に連絡いただきたいです。お願いします。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 砂防の状態等については、いろいろな資料が回覧で回ってきておりますので、今の砂防提よりも上にまた本砂防提ができるようであります。今進入路を作っておられます。その部分もありまして、先程、大西委員がおっしゃったところで組合の方に予定等は申上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 木を植えておられますので、木を搬出する時にそういった配慮するとかですね。それでない、そこが使えないようになっては困りますので、その件で言うておりましたのでよろしくお願いします。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 この工事が12月末までの長期間の工事になるわけですが、工事関係者の車両というのが当然学校の近くでありますので、時間帯とか進入経路というのが少し気になります。実際には、時間帯とか進入経路については、どういう計画をされているのか伺います。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 現在、工事につきましては、週1回の工程会議を持っております。工程会議の方には、小学校、中学校それぞれ校長が出て来ております。その中で先程、荒木委員からご指摘いただきました進入路につきましても、双方の校長と確認をしながら、どのようなルートで行う。交通誘導員をどういう形で立てるのかということも併せて検討しております。具体的に申しますと、工事関係車両につきましては、給食センター裏の工事進入路を活用したいと思っております。大型車両につきましては、そちらの進入路が使えませんが、誘導員をつけて日野川側の方から入って行くような形になります。時間帯につきましても、子供達が登下校する時間等は避けて、大型車両につきましては、9時以降というようなルールを設けて、小中学校校長了解のうえで、工事の方を行っていきたくと思っております。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 そうというのは、ちゃんと文章化したものは作成されるわけでしょう

か。もう一つは、工事関係者というのは、元請けもあれば下請けもあって孫請けがあって、かなり下まで実際にはありますのでね、やはり徹底をしていくことを考えないと、一番下の業者は知らなかったということは有り得るような気がします、その点について伺います。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 ご指摘ありがとうございます。先程、私の方が申しました件につきましては、文章化したものがございます。図面に落として、こういうふうなルートでということも小中学校の方には提示しております。下請け孫請けにつきましても、先程、委員が言われたような、知らなかったという事がないような形で徹底指導の方をしていきたいと思っております。

○山本委員長 よろしいですか。近藤委員。

○近藤委員 先程の教育長の説明について、腑に落ちない点がありましたので2、3、お伺いします。要するに議会の方で、この度の外構工事について、この予算内でやれるかという説明を求めたところ、十分やれるという答弁があったと思うわけなんです。それと併せまして駐車場に関しても、多くはないけれど、体育館周りに数十台の駐車スペースは確保するというような説明があったわけで、それができませんでしたという今説明だったわけですけど、その点についての見解はどうでしょう。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 外構工事については、先程、説明したところでありますけれども、こちらの積算が甘かったということがあるかも知れませんが、本議会等でご指摘のあった、この金額で本当に外構工事ができるかというご指摘もいただいたところでありまして、出来るだけやっていきたいというところを申し上げたところであります。従いまして、先程申し上げた通り、この繰越予算の範囲内で出来るところまでやっていく。支障がないように努力はして行きたいと思っております。出来るだけ予算内で仕上げたいと思っておりますけども、やはり入札等でのところで無理があったならば、支障のないところを、今回の駐車場あたりでの工事と一緒にして、完成をしたいというところがありますので、先程ご指摘のあった、大丈夫だと言ったのということがあります。その点については、謝りたいと思っております。また駐車場の件については、当初から申し上げたところであります。全く止められないという事はありませんけれども、やはり現在よりも駐車スペースが狭くなりますので、その部分

をどういふふうな確保をしていくかということ、図面に出して皆さんにお知らせしたところでもありますので、決してその駐車場が、この工事によって前に説明したところよりも、また少なくなったと言うことはありません。想定したところでもあります。従いまして、駐車場等については、以前にも大きな大会等で、担当の方が台数等を確認しておりますので、すべて万全的に確保できるというところじゃないかもしれませんが、皆さんの協力を仰ぎながら、文化センターの駐車場等を使いながら、駐車には協力をしてもらうというところは、以前と変わっておりませんので、ご理解いただきたいと思ひます。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 体育館周りに北ノ原の駐車場を整備されるというのは、計画案は十分伺っておったわけですが、いろいろな所、大きな大会では駐車場を使うということは聞いておりましたけど、体育館周りには駐車スペースというのはないということで、もう設けないということで結構でしょうか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 体育館の前の方になりますが、こちらの方には身障者用の駐車スペースというのを設けさせていただきたいと思っておりますが、一般車両が止めれるスペースというの、原則ないような形で考えております。

○山本委員長 村上委員。

○村上委員 砂防工事のところ、駐車スペースを作られるわけですが、その用地については、誰の土地、町の土地なのか、県の土地なのか。例えばさっき言われたように生山養草組合の土地なのか。例えばその続きに、もう一つ上に、堰堤をされるという事があるとすれば、その駐車場スペースにある現場小屋は、そのまま残されたら、当分の間使えないじゃないかと思ひけども、工程的に砂防工事の工程と体育館の建設の工程とのすり合わせあたりは、しっかりとされているのかどうかをお伺ひしたいと思ひますけども。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 今回、駐車場を考えております土地につきましては、町の土地でございます。町有地でございます。体育館の本体工事と砂防堰堤の工事のすり合わせの方ですが、県の日野振興センターの河川砂防課の担当者とすり合わせをしながら、双方の工事で支障のないような形で、進めるような形で話を進めております。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 町有林を切って、木材を使用するという一部木造なんですけども、工事にかかる町有林の素材の使用量、使用材積と製品の出来高材積等について、説明をいただきたいと思います。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 今回の木材の使用量でございますが大断面に使わせていただきますのが、おおよそ190^m。丸太ロスを考えまして、おおよそ300^mということを経算しております。それ以外にLVLにつきまして、おおよそ111^mで、その他、内装材としまして、LVLの内装も込みで、おおよそ18^m。これは製品の方になりますので、丸太の数量ということではないことをご了承ください。そこまで現段階では、資料の方を把握しておりませんので、申しわけございません。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 わかりましたけども、結局町が建設事業に使う素材の材積はいくらそちらに売り渡しといたしましょうか、使われるのか。材積と金額について説明をお願いします。

○山本委員長 以前、農林課でしたかね、900^mを切って製品で300^mという説明があったような記憶が若干あるのですが。教育課からの説明はいただいていないと思っています。この体育館の工事費ということですね。農林課で切ったというのは聞きましたけども。この事業費の中で、この素材の金額は幾らかということですね。すぐ出ないようでしたら、後ほど資料の提出ということでもよろしいでしょうか。坪倉委員、今すぐ資料が出ないということでしたら、後ほど資料提供ということでもよろしいでしょうか。そうしますと、この件については、後日、資料を提出していただきたいと思います。古都委員。

○古都委員 確認いたしますけれども、先程荒木委員の方が質問された件で、工事関係で執行部の方は工事車両は給食センターの裏から搬入というお話をされましたけれども、確か工事関係者の車両置き場は、コメリの周りに看板が出ていたような気がしますけど確認を一ついたします。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 工事台数、工事の職人さんの人数が多くなればなるほど、今現在、現場事務所を置いております場所では狭いので、コメリ周辺の土地、具体的な名前

はあれですが、あそこをお借りして関係車両はそちらに止めて歩いてということにはなろうかと思いますが、そちらの方から来るということになります。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 それと同僚委員から話がありましたけれども、先程執行部は、身障者用の駐車場は体育館のところに作りたいという話ですけれども、5人で使う6人で使う体育館使用もあろうかと思いますが、当初の説明ではグラウンドの観覧席のところに設ければ、少人数でも使えるという話が私はあったように記憶しております。そうすると、三段ぐらいあると思いますけれども。あそこに15台とか止められるのだろうという理解をしておったのですが、検討していないという表現されましたけれども、どの段階で変更されたのかお聞きしたいと思います。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 先程の委員のご指摘の方ですが、確かにプロポーザルの中で、こちらの方に駐車場を設けたらどうだというような形で提案をいただきました。プロポーザルの資料として、この中心地の方でも資料として提出させていただきました。ただその委員会の中で、あちらの観覧席を使って野球観戦をする方もいらっしゃるのじゃないかというご指摘もいただきました。トータル的に判断しまして、道幅も狭くなって参りますので、あちらの駐車場を設けるよりは、今、提案させていただいております砂防堰堤のところに駐車場を設けて、安全の確保、台数の確保ということを考えていきたいと思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 トータル的な判断だという説明でありましたけれども、駐車場が遠くなれば当然放送等の問題もありましようけれども、夜間照明、いわゆる防犯灯ですね、こういったようなことも出てくるので、当時最初説明の時も私も3階建てにしたらどうかという提案もしたのですが、やはり全員が近くの駐車場から歩いてきて体育館使用というのは、協議とか利用者によっても違うんですけども非常にロスがある。冬期間だとどうするかとかですね。いろいろな問題があると思うのですが、そこら辺についてはトータル的に判断されるなかで、どのような検討をなされましたか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 委員のおっしゃられることは最もなことだと思っております。冬期間につきましては、小学校前のスペース等も駐車できるようになっておりますので、そ

ちらの方から、利用者の方には大変申しわけないのですが、雪の日、雨の日、大変申しわけなく思っておりますが、そちらの方から歩いてきていただければということを考えております。

○山本委員長 足羽委員。

○足羽委員 駐車場の件ですけれども、基本的に人間の心理を考えたら、やはり体育館の前に止めたくなくなるというのは誰しも考えることであります。実際に止めたらだめだということがあっても、止める人は必ず出てくると思います。やはりその辺のことを考えて、駐車場というのは考えないと僕はだめだと思いますがどうでしょうか。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 駐車場の件につきましては、いろいろご指摘をありがとうございます。この件については、この委員会でもいろいろと報告をしてきたところであります。先程、グラウンドの観覧席あたりというところも、社会体育館を中心にした考え方で、いろいろとプロポーザルも出していただきました。全体の利用というところで、現在、総合的に考えて、駐車場を確保しておるところであります。なるほど、先程おっしゃるところもありますけれども、これまでも体育館の前2列に並べられて、その上に通路に縦列駐車というところがあって、そういうふうに使っておられた。その間にも、地域、周りの人から指摘がありました。あそこは町道ではありませんけれども通路で、イチイ荘に上がる時に不便だとか、いろいろなことがありました。従いまして、全てその部分を駐車場にしたところではありません。改めて今回、全て止められないという訳ではないと思います。これまでの所も考えまして、身障者の駐車場が確保、それは線で引いてありますので、そこは確保できると思います。その横あたりについても、下の段というか、それに並べて駐車もできると思います。その部分については、本当に事務局とかいろんなところで、それといまの小学校のガスタンクがあると思いますけれども、そこまでも現在も止めておられます。ですので、分けて考えると、今の工事の時には、すいませんそこは使えません。ただ完成した暁には、それでも何台かは、10台ぐらいは止めれると思います。ただし、それは駐車場として考えているところではありませんので、その部分については、これまでの部分について約同じぐらいの駐車をできたら上の砂防堤の前に作ったらというふうに考えておりますので、これからいろいろと検討をして参りますので、ご理解をいただきたいと思っておりますし、利用等についてもご協力を仰いで行きたいと思っておりますので、ご協力をよろ

しくお願いいたします。

○山本委員長　　よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶものあり）

○山本委員長　　そうしますと日南町体育館建築についての調査は、以上で終了いたします。担当課の交代のため、ここで休憩をしたいと思います。再開を9時40分からといたします。

（休憩　午前9時32分～午前9時40分）

○山本委員長　　会議を再開します。続きまして、民間活用住宅整備等事業についての説明を求めます。中村副町長。

○中村副町長　　改めましておはようございます。平成30年度、新しい年度の最初の特別委員会ということで、最初に2点程ありますけれども、最初に民間活用住宅の整備事業についての報告をさせていただきたいと思います。この案件につきましては、前年度の後半からいろいろ皆様方にご審議をいただいております。進捗してきたところでもありますけれども、昨日ですが、申し込みの方の締め切り日としておりました、1社の申請がありましたので報告をさせていただきたいと思っております。なお、申請がありましたけれども、今後実施要項に基づいた形の中で、5月2日に審査会をする予定にしております。その結果を持ってですね、決定にするのかどうかという判断をさせていただきたいと思っておりますので、本日は1社の申請がありました。報告にかえさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○山本委員長　　ただいま報告をしていただきました。この件について質疑ございますか。よろしいですか。荒木委員。

○荒木委員　　ちょっと前に現地の方を見る機会があったのですが、ちょうど建材屋さんの後ですね。その場所にかなり大きな木がなっておりましたけれども、それから、下も舗装は当然してないし。その点についてはどうされるつもりでしょうか。

○山本委員長　　実延企画課長。

○実延企画課長　　町が所有しておりますプレハブの車両を挟んで木が立ち並んでたと思いますが、予定地には3本、確かあったように記憶しております。それらにつきましては、町での撤去を今のところ予定をしておるところでございます。

○山本委員長　　村上委員。

○村上委員　　さっきの荒木委員の質問の中に木があるけど木はどうするのか。舗装

してないけどどうするのかというのがあったので、たまたま舗装の件の答弁がなかったからお願いしたいということです。

○山本委員長　　実延企画課長。

○実延企画課長　　失礼いたしました。舗装につきましては、舗装までは行わず、整地までを考えております。木を切りまして株をとり、当然穴ができますので、そこを泥で埋める。なるめる程度を想定しておるところでございます。

○山本委員長　　そうしますと私の方から1つ聞かせてください。山手側の残土の件が、以前の委員会の中で残土処分ということで議論をした経過がございますが、この残土について、どのような対応をされるのかお聞かせをいただきたいと思います。中村副町長。

○中村副町長　　説明不足で申しわけありませんが、前回のこの会議でお話をさせていただいた経過がありますけれども、基本的には早く撤去するという考え方をしておりますので、現時点での当初予算では計上しておりませんので、補正予算の方で早急に対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　前回もお話したと思うのですが、今回住宅を建てる、整備するという事なのですが、残土のこともございました。その周辺ですね。虹の郷からウッドカンパニーの裏側ですね。あの辺の整備計画もですね、検討していただきたいと。水路の関係ですね。あくまであれば、小原川の水利の関係もあると思うのですが、そこもちょっと綺麗になるような形でですね、町の方も検討していただきたいのですがどうでしょうか。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　水路の件につきましては、基本的には水路組合があつて、その方で現在、水が通っているという話もありますので、それを補修するという形であるならば、基本的には現在、部分的な補修が動いておりますので、その中で対応できればと思っております。ただ、もともとが水路の田んぼ用なのかどうかというところを再確認しないといけないと思っておりますけれども、不要という話が仮にあるのならですね、その形は検討していきたいと思っておりますが、いずれにしても水道組合等とのお話を、まず優先的に検討していきたいと思っております。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　以前はですね、あそこは大田原で田んぼがあったので、それと生山の方にですね、水を流しておりましたけれど、現在ほとんど水もいらないような状況になっておりますので、ただ、現在使っておられる方が途中まではありますけれども、後はないので、今、自治会の中でもですね、そういった話を投げかけておりますので、町と協力してお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　そう言った利活用の現状も把握しながら、或いは場合によっては、地域によって違いますけれども、鯉だとか或いは、防災上の観点というところもあるかもしれませんので、その辺も含めて、掌握した段階の中で整理をして、必要であれば次のステップに行きたいと思っております。

○山本委員長　　荒木委員。

○荒木委員　　先程、残土の件がありました。前、残土の件を聞いた時には、例えば、阿毘縁に持っていくと1,000万円から2,000万円、1,500万円ぐらいですか、かかるような、2,000㎡でという話もありましたし、それから計画の中では、今の残土置き場の後ろの方に道を付けるという計画もありましたし、それからステップ跡のところの埋め立てに使うという話もありました。いろいろな話が出ております。ですが、やはりお金のかかることですから、無駄なお金は使わないように計画的にしていだきたいと私は思うのですが、副町長どうでしょうか。

○山本委員町　　中村副町長。

○中村副町長　　今回はですね、民間アパートを建てるということを鑑みまして、残土がありますので、それを早急に撤去するというのを主体に考えていきたいと思っております。それは道の駅周辺の行事だとかいろいろなことをする中で、やはり駐車スペースの確保ということが優先的に今回は考えたいと思っております。ただ、持っていく先とか、利活用については、いろいろな方面で考えておりますので、町が発注する工事現場の中で、1ヶ所だけではなくて、数ヶ所必要であればそういった形を取っていききたいと思っておりますので、今回のものにつきましては、基本的には残土を早く撤去して、駐車場等の利活用に資するというのを基本に考えていきたいと思っております。

○山本委員長　　荒木委員。

○荒木委員　　町の工事の発注に使えるような残土であるというふうに思っておられ

ます。ちょっと行ってみたんですけれども、それ程いい土ではないと思っておりますが、その辺はどうでしょうか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 その辺の見解は、私よりも専門のところで判断していきたいと思っておりますが、例えば路盤材に使うのか、いろいろな形があると思っておりますので、その辺につきましては担当課の方としっかり検討した形で進めていきたいと思っております。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 少なくとも、土砂を移動するだけに何千万円も使うようなことはして欲しくないと思いますので、よろしくをお願いします。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 今の残土の件でありますけれども、前回執行部の案は、ステップの撤去、その後に埋め泥として使いたいという意向があったわけです。私もその時に言ったのですが、阿毘縁まで持っていかなくても、尾郷に上がった畜産団地周辺に町の残土置き場があるので、その方が経費的にもいいのではないかという提案もさせていただいたんですが、まずは総合的にですね。先程教育委員会を総合的にという言葉で沢山使っておりましたが、ステップを早く解体撤去して、裏側につける町道を整備しながらステップに持って来て埋める。というのが1番常識的だろうと思っております。それ以外に、前回もお話をしたんですが、もともと防災用の残土ということがあって、菅沢ダムから泥が出た時にあそこに積んだという過去の経過があって、その部分についてはだいぶ使っておられて少なくなってますが、現段階で約2,000 m³というお話もあったわけで、2,000 m³あればステップの埋め泥として十分じゃないかと思う訳で、当然、経費的にも何分の1というような金額で収まると思っております。またステップの所に住宅等を建てるということになれば、また持ってこなければいけない泥を、ということがあるので、そこらへんを本当に真剣にですね、トータル的に考えて工事をされないと、先程同僚委員が言われましたけれども、出来るだけ経費をかけずにやっていかなければ、まだまだ今後の計画もあるようですので、そこらへんをしっかりと議論いただきたいと思いますが、どうですか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 今現在考えておりますのは、1つはですね、町の工事発注をしてい

る部分の石見方面辺りが1ヶ所ありますし、当初から1つあっておりました阿毘縁の関係もあるでしょうし、そういった段階の中で、経費節減も含めて考えていきたいと思っておりますので、当面は現在の残土についての整地ということを優先に考えていきたいと思っておりますし、併せて、効率的な経費執行については努めていきたいと思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 ステップのところの整備については、今どのようにお考えになっているのかが1点と、もう1つ残土の前にですね、フレコンで製品が並んでおります。これはどのように今後流れていくのか。あそこに積んであれば、利活用できないわけでありまして、その2点について伺います。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 フレコンにつきましては、前回といたしましては、元々所有者の方と話をしておりますので、早期撤去といたしましては、運用を検討していただくことは確認しております。それとステップにつきましては、当然、現在使っている建物でもありますので、前回出させていただいた計画の中で順次やっていきたいと思っておりますので、いずれ撤去というか、撤去のことも含めて、或いは、今回民間アパートの建築についての執行がある程度動いているという状況がありますので、町内の皆さんの利活用というか、民間アパートの需要というところをですね、再度確認しながら計画進行に努めていきたいと思っておりますので、その段階でまた皆様方にはご協議を賜りたいと思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 それとプレカットの下川にもバスが置いてあったりとかですね、重機が入れてあったりとかするわけですけど、そういったものの移転場所あたりについては、どのようにお考えになっておりますか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 その辺につきましても、いろんな場面が周地的にありますので、一括した形の中で計画を再度練りながら進捗状況を確認していきたいと思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 先程の報告から流れておりますが、やはり1つのことをするには、行政としてトータル的な詰めをしてですね、途中で若干変更があるにしてもですね、社

会体育館と一緒に、行き当たりばったり、やってみたら足りないとかいうようなことにならないように、大きな計画ですので、そこらへんを見据えての整備計画が本当だろうと。当然それには関連する過疎計画あたり等もですね、覗いてくるんだろうと思いますし、ぜひそういうところに力を入れていただきたいと思いますがどうですか。課長どうですか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 委員の言われる通りだろうと思っておりますので、今回の民間パートについては1つのステップだとして、残りの計画につきましてはスケジュールも含めて、ご案内の過疎計画財源的なところも含めてですね、総合的に判断しながら進めていきたいと思っておりますし、その段階でまた皆様方にもご協力を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

○山本委員長 実延企画課長。

○実延企画課長 基本的な考え方は副町長が申し上げたところの中で、現場としましては、イレギュラーなケースも、確かに想定外だったというケースをなるべく少なくするように、いろいろな想定を踏まえながら、また町民さんの今年度、まちづくりアンケート等を予定しておりますが、その中でもニーズを聞いたり、またいろいろな方法で検討を進めて参りたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○山本委員長 そのほかございますか。ないようでしたら続きまして、道の駅日南日野川の郷の運営体制について説明を求めます。中村副町長。

○中村副町長 私の方から新しい指定管理者になった経緯もありますので、その辺について、まず概要の説明をさせていただきたいと思ひます。詳細につきましては担当者の方から説明させていただきますが、資料提供しておりますが、基本的に29年度の実績についてはほぼあつてますが、ある意味では速報値というふうな捉え方をさせていただいて、若干の変更があるかもしれませんが、受託者である、前受託者の方からそういう話があつておりますので、ご承知おきいただきたいと思ひしております。なお新しく経営者会議を4月26日にするようにしておりますので、4月以降の運営につきましては、その段階で確認をしたいと思ひしておりますので、また委員会の方にも報告をさせていただきたいと思ひしております。ただ、新しい受託者につきましては、当面はですね、従来の形を取つていきながら、順次自分たちの色を出していきたいとお聞きしておりますので、道の駅に行つていただくと、多少配列だとかテーブルの向きだと

かそういった形ではされておりますし、またレストランのメニューあたりもですね、若干変わってきているなど思っておりますので、できるところからスタートされていると思っておりますので、それと4月22日がオープンの日でありまして、昨年も記念オープンをした経過がありますけれども、今年度につきましては、若干それにはこだわらず時期をずらしながらですね、やっていきたいというお考えをお聞きしておりますので、併せてご報告をさせていただきたいと思っております。私の方からは以上であります。

○山本委員長 実延企画課長。

○実延企画課長 本日、用意させていただきましたタブレットページ7ページをお開き願います。私からは、道の駅の関連組織図として用意しております。今年度4月1日以降の新しい指定管理者によります組織体制についてご報告申し上げます。株式会社サクセスを本体としまして、中程に道の駅日南日野川の郷、責任者、駅長と書いております。そこから別れまして、左側、直売所並びにレストランの経営につきまして、サクセスによる運営を始めているところでございます。3月31日までは前委託のMA サービス、4月1日からサクセスということで、現場では相当な引継ぎ等でバタバタした経過もございましたけれども、今のところイベント等できるだけ、本当はやりたかったところもありますが、優先順位を持ってしかるべきところで対応させていただいて、今日まで来ているというところがございます。直売所の体制でございますが、責任者を駅長としまして、事務スタッフ2名、販売スタッフ5名と言う体制でございますし、レストランにつきまして、こちらテナント利用ということで、今後、形態については見直しを図りたい、検討したいと思っておりますが、責任者駅長、ホールスタッフとして5名の体制で行っておるところでございます。それから関連しまして、清掃部門でございます。ちょっと色を変えまして、責任者あかり広場代表と書いておりますが、本社を米子市ですけれども、先般合併の式典もございましたけれども、あかり広場日南つなでという新体制のもとで業務清掃委託を行っておるところでございます。つなでの所長を責任者とし、生活支援員を1名、職業支援員2名、利用者4名という体制で4月1日以降、清掃を行っていただいておりますし、関連しまして、役場の清掃も行っていただいております。このような新たな体制というところで、徐々に肉付け、イベントであるとか、行事、また一部配列等は、先程、副町長が申し上げましたが、そのあたりも含めて改善なり行っていきたいと考えているとこ

ろでございます。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 それでは、私の方から、道の駅にちなん日野川の郷直売所におきます平成29年度3月の売上状況等についてご説明いたします。タブレット2ページをご覧ください。29年度税抜き売上計画対比の表となっております。3月の売り上げ計画370万4,000円に対し実績317万3,000円で53万2,000円のマイナスでした。売上総利益61万円。利益率19.2%でございます。経費は287万9,000円の実績となっております。営業利益は226万9,000円のマイナスでした。これに町の委託費を足し上げた3月の経常利益は、59万6,000円のマイナスでございました。平成29年度全体でございます。売り上げ計画7,222万2,000円に対し実績5,537万2,000円で1,685万円のマイナスでした。経費につきまして3,517万3,000円の計画に対し、実績3,248万8,000円で268万5,000円のマイナスです。営業利益マイナス1,970万4,000円に町の委託費、2,007万7,000円を足し上げ、平成29年度の経常利益は100万3,000円となっております。税抜きの数値でございます。次に、タブレット3ページをご覧ください。こちらは、28年度税抜き実績での対比となっております。28年度3月期の売り上げ実績366万7,000円に対し、29年度3月期実績317万3,000円となり、49万4,000円のマイナスです。経常利益につきまして、28年度実績マイナス31万6,000円に対し、29年度実績がマイナス59万6,000円と28万円のマイナスとなっております。平成29年度と平成28年度、全体の比較でございます。28年度売り上げ実績7,065万7,000円に対し29年度売り上げ実績5,537万2,000円で、1,528万5,000円のマイナスでした。町の委託費を足し上げた経常利益は、28年度がマイナス181万4,000円、29年度が100万3,000円となっております。税抜きの数値でございます。続きまして、タブレット4ページをご覧ください。上段は先程ご報告いたしました直売所の売上、客数実績を下段はレストランの売上、客数実績をそれぞれグラフ化したものでございます。平成29年度実績をオレンジ、平成28年度実績を青色で示しております。棒グラフは売り上げを、折れ線グラフはレジ通過者を示しております。3月の直売所の状況でございますが、売上客数とも昨年3月期より減少しております。売り上げにおける平成28年度と29年度の比較ですが、9月と1月につきましては昨年度を上回っておりますが、それ以外の月は昨年度を下回っております。レジ通過者については、7月以降、昨年度と大きく変わらない状況でありますので、客単価が昨年度より下がっていることが見て取れると思

ます。レストランについては、4月、7月に昨年度売り上げを上回りましたが、それ以外の月は昨年度を下回っております。レジ通過者につきましては、折れ線グラフが昨年度とほぼ同様の動きをしております。お客様の減少が顕著に表れ、それが売り上げの減少に繋がっているのではないかと考えております。次にタブレット5ページをご覧ください。直売所における部門別利上げ実績でございます。計画に対し、キノコ、果物、魚介類が計画値を上回っておりますが、それ以外は7割から8割程度の達成率となっております。続きまして、タブレット6ページをご覧ください。平成29年度の道の駅施設別売り上げ客数 EVI 実績一覧でございます。表示金額は、税込みで記載しております。下段の来場者数につきましては、レジ通過者に係数を掛け、算定したものとなっております。29年度は12万9,821人で、28年度実績と比較して2万5,677人のマイナスとなっております。また道の駅全体の EVI 実績であります。昨年度22万2,869円に対し、29年度21万4,406円となり、8,436円のマイナスという結果となっております。以上で簡単ですが説明を終わらせていただきます。

○山本委員長　　ただいま説明をしていただきました。このことについて質疑ございますか。近藤委員。

○近藤委員　　先般の話の中で、経営者が替わって今までが委託販売であったのが、買い取り販売も視野に入れて検討して、出荷者協議会と協議をやっていくという説明でありましたけど、説明のあった午後に出荷者協議会との話し合いが持たれるということでしたが、その内容の結果についてお知らせ願いたいと思います。

○山本委員長　　実延企画課長。

○実延企画課長　　出荷者協議会での議事の詳細は把握しておりませんが、その委託販売にするか買い取りにするかという仕組みにつきましては、当面出荷者との混乱を避けるために スムーズな移行を優先的にということで、結果、今のところ現状で運用しているという状況は把握しているところでございます。

○山本委員長　　近藤委員。

○近藤委員　　現状でということは、委託販売ということを経営してやられるということで、今後そういう買い取りという方針が新しい事業者の方から示されているわけですけど、それに対する出荷者協議会の反応とかについて、それからまた今後どういうタイミングで買い取り販売も取り入れて行かれるというような方針であったか、その会社の方の方針など示されたのかどうなのかお伺いします。

○山本委員長 実延企画課長。

○実延企画課長 運営者初め、出荷者協議会員の皆様に、買い取りについての議論があったという事を伺っております。その中では好感触をいただいておりますという抽象的な総論としては良いけれど、具体的にどういった形でやるのかというのをまだ提示されていないように聞いておりますので、今後、具現化に向けて詳細は詰めて行かれるものと思っております。当然、経営にも関わってくる部分でございます。指定管理料等にも関わってきますので、企画課、農林課さらに運営者、連携してその辺りは詰めて行きたいと考えております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 この転換期というか、経営者が替わったということで、出荷者協議会とこの事業者との話し合いが行われたわけですが、それには町として正式な報告を受けられておられないのか、また町の方からその話し合いに参加されておられないということですか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 基本的には出荷者協議会の関連につきましては、担当課が農林課でありますので、当然そういった会議には出席させていただいております。明日、明後日、経営者会議もありまして、当然その中でも出荷者協議会の代表者の方も参画いただく形を従来から取っておりますので、その辺を含めて情報の把握と共有には勤めていきたいと思っておりますし、出荷者協議会の皆さんの会員さんもいろんな考えの方があるとお聞きしておりますので、とは言いながら、最終的な方向性はきちんと決めないといけないと思っておりますので、その辺は逐次、情報を持っていながら、また報告をさせていただきたいと思っております。いずれにしても、出荷者協議会というか、生産者の皆さんと運営者の皆さんが、合意が必要だろうと思っておりますので、きちんとその辺は双方の合意点を見ながら、場合によっては人によって替えるということもあるのかもしれませんが、その辺はまた早急な形ではなく、しっかりした規約の内容的なところでありますので、その辺はしっかり確認しながら進めていきたいと思っております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 この出荷者協議会と運営者との考え方と、それから道の駅全体としての方針というか、方向性というのを、しっかり出荷者協議会の会員も募集されておる

状況でありますので、やはり広くこういう方針転換がありましたということは広報して、また改めて出荷者協議会の参加者を募るという方法も必要だと思うわけで、やはりこういった大きな変換期には、自分たちも含めてですけども、広く町民に知らせる必要があると思うわけですが、どうでしょうか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 元々の考え方は、地域の農家の皆さんの、或いは、美味しい物というのをやはり作って、広げていく、交流人口も図っていくということが目的でありますし、農家の皆さんの所得向上にも繋がるということが当初の目的でありますので、その目的に沿うかたちを推進していきたいと思っておりますので、当然、新しい形になって売買形式が変わるという話になると、当然情報提供をしていかないといけないと思っておりますので、その辺は出荷者協議会の中でも当然、理解していただいたり、或いは出荷者協便り辺りも広報として頒布されておりますので、そういったところにもしっかり載せていただいて、会員の募集も含めて行って行きたいと思っております。

○山本委員長 この件の関連について質疑ございますか。坪倉委員。

○坪倉委員 先程の近藤委員とのやりとりも聞いていてもそうなんですけども、この道の駅には道路の情報の提供とか、レストランもありますけども、やはりメインは農産物直売所なんです。農林予算を使って農林課主体で直売所は、建設をされて運営をされてきたわけですけども、今日も農林課の姿は説明員としてありません。今後、農林課と企画課が連携をしてというのが当然ある事だと思いますけども、一体として、道の駅の運営を考えるとすれば、生産者協議会も含めてですね、企画課で一体的な運営をされたらどうでしょうか。正しく経営にも関わることであるし、事業展開に直接関わる大きなところが、農林と企画で別々の担当者が分野ごとに連携をされるというのは、やはりあまり良い状況ではないと、やはり窓口を一本化して、一つの部署で、総合的に、体系的に、有機的に進められた方がいいと思いますが、いかがですか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 組織のあり方という所だろうと思っておりますが、経営者会議につきましては、当然農林課も入ってきておりますし、観光だとか、いろいろな関係セクションが集まった形での会議の内容にしておりますので、情動的には共有できている

ものと考えております。ただ、本日は大変失礼いたしましたけれども、農林課の方が上がって来ていないという事がありまして、出荷者協議会の具体的な所のご説明が不足したなど反省しているところでもありますけれども、基本的にはそれぞれのところで現状の体制で行きたいなと思っております。ただ、将来的に渡ってその必要性があるなら、それは変更は必要だろうと思っておりますが、現時点の段階では現行体制で支障がないと思っております。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 一般的に農業振興は農林課になっておるわけですがけれども、この道の駅の農産物直売所と言いながら、道の駅の中心施設、中心地域の賑わいの創出なり、交流を増やすという観点からして、出荷者協議会の運営等について、企画課が所管されても特段問題はないではないかなど。そのことが他の農業施策との連携があるとすれば、その部分での農林課との連携と言うふうにされれば、より道の駅全体としての運営はスムーズに行くのではないかと思います。再考を願いたいと思います。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 そういう見方、考え方というのはあるんだろうなと思ってますが、いろいろ出荷者協議会につきまして組織的には企画課でもいいのかもしれませんが、内容的なところもありますので、ちょっとそこは再考させていただきたいと思っております。

○山本委員長 恵比奈委員。

○恵比奈委員 いろいろな担当課があって、一つの課で完結する事業はよく考えてみるとないわけです。どの課もがしっかりと連携を取り合って、共通の目的に向かって進んでいくということが大切だと思いますし、そのことは、横の連携が取れていないということを他の委員さんも度々有る毎に意見として言われておるわけですがけれども、今もってそういう連携が十分に取れてないという事態であるということが、今の坪倉委員の発言になっていると思います。それからもう一つ、ここで情報提供をしっかり測っていらっしゃれば、農林課が上がっておられなくてもきちんと答弁できるわけですし、そのことができていない。経営者会議に両方から出ていると言うだけでは、経営者会議と経営者会議の間の穴埋めができないということになりますので、特に商売はスピード感と情報提供、情報キャッチすることが大変重要になると思いますので、4月ももうすぐ終わります。しっかりその辺に気をつけていただきたいと思います。

ます。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 ご指摘の件につきましては、十分これから留意していきたいと思っております。出荷者協議会としての役割は、自分たちがものを作るというところと、それを売っていくという行為と両方ありますので、物を作るというところに関しては生産者は一緒なんですけども、物を売るという行為につきましては、生産者の皆様、いろんなパターンが今現在あります。ですからそのへんにつきましては、農家の皆さんの考えというところが主体的になろうと思っておりますし、売り先のところもありますので、その辺はどういう形が一番有効なのかということは再考してみたいと思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 先程来、出荷者協議会との話も出ておりますけども、私が思っておったのは、実延企画課長は出荷者協議会を立ち上げた人なので、企画課に持ってこられても十分に対応できると思っておりますので、そういうような形が、同僚議員の言われるように企画課に能力はあると思っておりますので、ぜひそのような取り組みをしていただきたい。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 応援いただきありがとうございます、ただ人によって仕事を持っていても、行く手もありますけども、それが良いやり方かどうかということは、やはり疑問視する面もありますので、元々はやはりしっかりとした情報提供と、出荷者協議会も動いていくということがやはり重要な論点だろうと思っておりますので、それに向けて頑張りたいと思っておりますので、また来続きご支援いただければと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 私はですね、決算の実績を見させていただいて、今度から指定管理になるので過去の2年間でどうのこうのじゃないですけども、やはり道の駅で謳い文句はCO2ゼロと言う謳い文句で、これは当然引き継いでやっていかれると思うんですけども、28年度実績のCO2と29年度の実績はもう計算されているのでしょうか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 最終的な詰めまでは行っていませんけども、平成28年度のCO2排出量142トンに対して、今の見込みで行きますと138トン程度になるのではないかと考

えております。5月の頭には、29年度の排出量が確定するものと思いますので、その段階でまた報告の方をさせていただきたいと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 142トンに対して29年度は138トン、ほぼ変わらないということでしょうか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 あくまで今の段階では、まだ試算ですけども、138トン程度、約4トン少ない状況になるのではと考えております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 私が言いたいのは、決算の状況で光熱費の実績が出ていますね。光熱費の実績が20%違うわけですよ。120%、20%増なんです。同じ月からずっと見たら。4月22日からスタートしましたが、1年間、見るならば、5月がどうのこのじゃなしに。3月末時点であるとか、4月に出るとかしないと。今言われましたように4トンしか変わらないということは、1%、2%の段階ですけども。金額表示からいくと20%違いますがどうなんでしょうか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 ちょっと手元に資料がありませんので、また確認して連絡の方をさせていただきたいと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 これ毎月の実績が出ているわけですよ。電気代。メインは電気なんです。3月でいくとですね、計画に対して60%減ですけど、それ以外の月はめちゃくちゃ多いんですよ。こういうのは月々チェックしておかないと、今後ですね、新たな会社が、これ指定管理であります。電気とかいろいろ使います。あくまで営業するには電気が必要ですから、それはいいんですよ。やはり電気がなかったらできませんけど、余りにもですね、2年間の過去の実績を見ていくとですね、ものすごくばらつきが多いのと、やはりCO2の計算、CO2ゼロという道の駅ならばですね、計算方法もですね、表示するぐらいにして、あそうか道の駅に来たらCO2全国で初めてやった道の駅なんだなど。こういう計算をするのかと。前にも言いました、環境家計簿のことを言いました。そういったアピールをですね、きちっとしないと。それで、できる限り早く出していただかないと。その辺どうですか、電力会社から伝票が来てから計算を

されるのですか。どうなんですか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 今、大西委員さんがおっしゃった通りで、伝票が来てからの計算となります。日南トマト加工さんにつきまして、今、民間電力と契約されましたので、実績が約2ヶ月遅れてやってきます。ですので、5月に入って計算を確定させていただきたいと考えているところでございます。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 トマト加工は別でしょう。どうなんですか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 トマト加工さんも全部含んだ形で、道の駅全体ということでこのCO2の計算、28年度もですけども計算をしております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 わかりました。そうしましたら5月なら5月で結構ですので、私はトマト加工は別だと思っていたんですよ。だから、メーターもちゃんと前はね、積算計を別々に付けていただいて、レストランと直売所、直売所の中には調理をするところもあるので、それはいいんですけど、トマト加工は別だと思っておりましたので。そうしましたら、28年度の140トンの内訳と、29年度の内訳を後日で結構ですので提出してください。お願いします。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 決算状況について、ちょっと聞いてみたいと思いますが、29年と28年の対比で、売り上げ実績ですね。直売所の売り上げが28年が7,000万円あまり、29年が5,500万円ということで、非常に1,500万円も減っていると。しかしながら、経常利益は逆にですね、28年はマイナス181万4,000円、29年は100万3,000円逆転しております。所謂売り上げ実績と利益とが相反しているということですが、見ると、町からの補助がですね、1,746万7,000円が2,007万6,000円ということで、上がっていますので、この利益差というのは、大体同額だと思うのですが、なぜ全体が下がっているのに、そこがあまり変わらないかというのを見る中で、一つには、交通費ですね、182万3,000円のが6,000円になっていると。これは一体どういうことなのか。なぜ交通費が今回かからなかったのか。それについて、総合的な見地と個別のところについて説明をいただきたいと思います。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 全体的なとらえ方ですが、旅費のこともありますが、旅費はイベントあたりの関連だと認識しておりますが、全体的に売り上げが減の中で利益が増えているという話ですが、一つはですね、言えることは、人権費あたりが対前年度からいくとマイナス380万円となっておりますので、その辺の28年度の決算の中で、運営会社の方ができるだけ利益を生むような形の中で一つ精査されたのが人件費だろうなど思っておりますので、それによって、直接的な売り上げとの関連というのはわかりませんが、売上に関しましては、28年度と若干イベントあたりの中身のあり方というのが違いが生まれてきているのかなと。一つの要因としてですね。全てではありませんが、そういうことがあるのではないのかなというふうには、私個人的には思っております。

○山本委員長 よろしいですか。交通費の減ということですが。島山室長。

○島山室長 ここで計上されています182万3,000円の交通費の中には、イベントでかかった交通誘導委員の費用も、当初計画の中に計上されていたと聞いております。実際の6,000円でありますけれども、これは職員が出張等で使った、例えば駐車場ですとか高速道路代、こういったものがこの6,000円の中に含まれていると報告を受けています。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 イベントの数は、逆に増えていると思っております。それにしてもですね、初年度、昨年が6,000円で済むものなら180万円もいらなかったのではないかという気がしておりますし、副町長からお話があった売り上げ差額と計上利益ですね、ここの出入り、280万円ですけども、ざっと。これは所謂町の補助金の上乗せ分が250万円ぐらいあるわけで、基本的には1,500万円もの販売実績が下がっているのに、とんとんになっていると。これは本当の数字ではないのではないかと。どちらが違っているかわかりませんが、非常に疑わしいような気がするんですよ。

1,500万円というのは、全体売り上げの何割にも相当するわけで、それが減っているのにプラスマイナスがほぼ一緒だというふうになっておりますけども、もう一度そこらへんを説明いただきます。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 売り上げにつきましては実績の通りでありますので、それと28年度

の1年間を見て、やはり当初の段階でありましたので、ある程度、投資的などころを
どんどんやってきていただいたというところもあって、その辺が人件費あたりとです
ね、全体の利益を生むがための形と、それと総生産量といいたいでしょうか、そういった
形の中で、人件費を若干下げてきたという経過があります。28年度につきましては、
一時的ですけども職員の数も今減っておりますので、そういった形が数字的には表れ
て、人件費あたりの減に繋がっていると思っております。ですからトータル的には、28年度の1年間の実績を踏まえて、29年度はどうしていただいいかとい
うことで、運営会社の方のとらえ方としてこういう結果になったという話であります
ので、もともと売り上げ高を減らすがためという意味ではなくてですね、最終的には
経常利益を生むがための方法としてそういう手法を取られたと思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 島山室長に伺ってみますけれども、先程の交通費の話でイベントの話
をされましたけども、実際にはリース代とかイベント企画費というのは、逆に伸びて
いるんですよ。非常に。その関係はないと思うんですが、今一度、説明をいただき
ます。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 すみませんちょっと説明が悪かったかもしれません。今、古都委員さ
んがおっしゃった通りイベント企画費が増えておりますけれども、春先に行ったイベ
ントで、交通誘導員とこういったものはイベント企画費の方で振り替えておりまし
て、こちらの方で増になっておると考えております。

○山本委員長 そのほかございますか。ないようでしたら全体を通して、質疑ござ
いますか。ないようでしたら、以上をもちまして委員会を閉会といたしたいと思いま
す。お疲れ様でした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

副委員長